

② 主語・述語を読みとる

〈主語・述語を読みとる〉

つぎの ぶんしょうを よんで
あとの といに こたえなさい。

- 1 さるが いいました。
「みんなで、山にいこう」
みんなが、げんきに しゅっぱつしま
した。よく みちを して いる き
じが せんとうに たちました。

- (1) 「みんなで、山に いこう」と いった
のは、だれですか。つぎの うちから、
よいと おもうものに ○を つけなさい。

ア きじ
イ みんな
ウ さる
エ おかあさん

- (2) きじは どうしましたか。
(3) げんきに しゅっぱつしたのは だれ
ですか。

〈書いてある通り読む〉

- 2 きのう ボールなげを しました。
つとむくんの なげた ボールが、みち
の あなに はいって しまいました。

- ◇ かいて ある ことに○、かいて
ないことに×を つけましょう。

- ① ()きのう ボールなげを しました。
② ()ボールが あなに はいりました。
③ ()きのう ボールを なくしました。

- 3 この ふねは 千にんもの おきやく
を のせる ことが できます。
ふねの 中には、としょしつや ゆう
ぎしつが あります。プールも あって
およぐ ことも できます。
うごく ホテル と いわれて います。

- ◇ ふねの 中には なにか あると
かいて ありますか。

()

低学年段階では、「書いてあることの概略を読
みとること」が、大切にされなければならない。
そのためには、「だれの話か」「だれが何をした
のか」の形で、文の骨組みをとらえて、まとめる
ことが必要である。つまり、主語・述語をおさえ
て読む力が基礎となる。

○結果は下の表の通りである。

		主語・述語をとみとる						
		番号	(1)ア	イ	ウ	エ	(2)せんとう	(3)みんな
A 校	1				○		○	○
	2				○		○	○
	3				○		○	○
	4				○		○	○
	5				○		○	○
~~~~~								
	36					×	△	△
	37				○		○	○
	38				○		○	○
	39			×			○	×
	40				○		○	○
B 校	1				○		○	○
	2				○		○	○
	3				○		○	○
	4				○		○	○
	5				○		○	×
	6				○		○	○
	7				○		○	○
	8				○		○	○
	9				○		○	○
		10	×					○
計	50	3	2	43	2		45	43

(1)の問題 △は無答

ウが正答であるが、「きじ」としたものの3名。  
「みんな」としたものの2名。文章中にでてこない  
「おかあさん」としたものの2名。このように、誤  
りの数は多くはないが、ていねいに読ませなければ  
ならない。

(2)の問題

述語を問うもの。

「せんとうにたちました」と、答えるべきもの  
を、「よくわかるから」とか、「よくみちを知っ  
ているから」と、答えたものがある。なかには、  
「せんとうになって、うんでんしています」と答